

みんなであつくり

～職員も悩みながら試行錯誤中…『生み出せる喜び』を感じませんか?～

「住みよいまち」と評価されましたが例外なく…

長久手市は、「住みよさランキング2013」(『東洋経済 都市データパック2013年版』に掲載された全都市ランキング)で、全国812市区中6位となるなど、とても住みやすいまちと評価していただいています。ところが、全国で最も平均年齢が若く、全国トップクラスの人口増加率を誇る長久手市でも、すでに高齢化が進み、近い将来には少子化に向かい、数十年後には人口も減少すると予測しています。

いつか下りていく時代に備えて…

私たちは、そのような頂上から下りていく時代に備えて、豊かな長久手の自然を大切にしながら、一人ひとりに「役割と居場所」があり、みんなで助け合い、心豊かで温かい「新しいまちのかたち」を今からつくりたいと考えています。

生みの苦しみ…

そのためには、みなさんと一緒にさまざまな取り組みを積み重ねていく必要がありますが、私たち職員は何をどのようにみなさんと一緒にすればよいのか、まさに「生みの苦しみ」を味わっています。

そうした中、「新しいまちのかたちづくり」には、まちづくりの基本的なルールが要るのではないかと

「日本一の福祉のまち」を目指すなら、市民幸福度の高いまちにしたらいけないか? みんなで、「新しいまちのかたちづくり」に役立つわかりやすい尺度=ものさしがあればよいのではないかと、日々、頭を悩ませつつも、長久手の未来を思い描いていくことでワクワクしています。

そこで、これから本格的に進めていきたい2つの取り組みを紹介いたします。これは、市民と職員にとって、「生みの苦しみ」であり、「生み出せる喜び」だと思っています。これらの活動を企画の段階から実行に至るまで、みんなの手で、ぜひ一緒に取り組んでいきましょう!

取組 その1

住みやすさ日本一のまちを目指す!

「市民目線で幸せを測る長久手独自のモノサシづくり」

市民一人ひとりの生活や地域社会の豊かさなどを測る新しいモノサシを持つことで、今の暮らしの中にさまざまな課題を見つけていきます。そして、それらの課題について、市民と職員が協働して、長久手の将来像を語りながら、具体的に課題を解決していくための仕組みづくりを行います。そこで今回は、市民の幸せ感に関する傾向を紹介しつつ、幸せリーグへの参加についてお知らせします。

市民意識調査の結果から

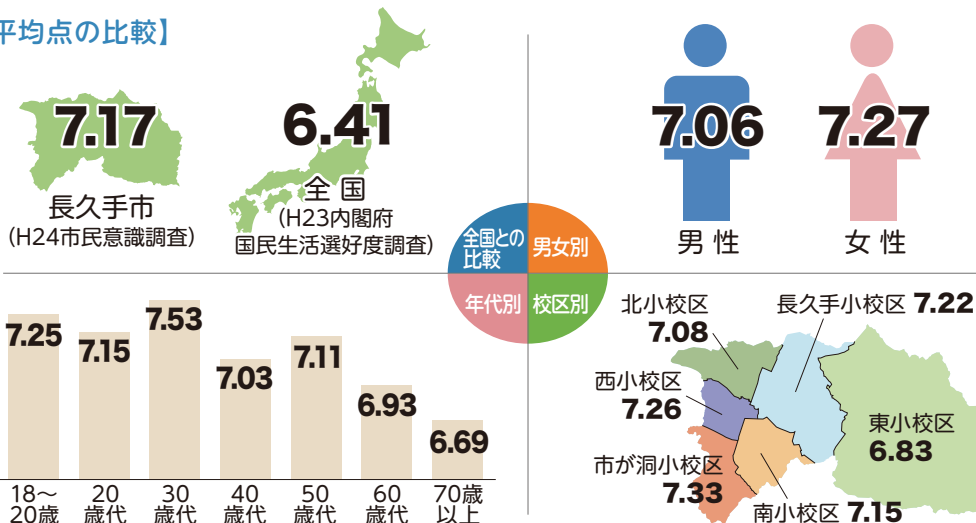
昨年度に実施した市民意識調査(5,000件配布、回収数2,646件、回収率52.9%)において、幸せ感に関する基本的な質問を設けました。

あなたの
幸せ感は何点?

「とても不幸を0点、とても幸せを10点とするとあなたの幸せは何点くらいか(0～10点から1つを選択)」

市全体の幸せ感全国平均よりも高く、男性よりも女性の方が高い状況にあります。年代別にみると、全体的に若い年代は高く、高齢になるにつれ低くなる傾向にあり、最も高い30歳代と最も低い70歳以上では0.84ポイントの差があります。また、小学校区別にみると、最も高い市が洞小学校区と最も低い東小学校区では0.5ポイントの差があります。

【平均点の比較】



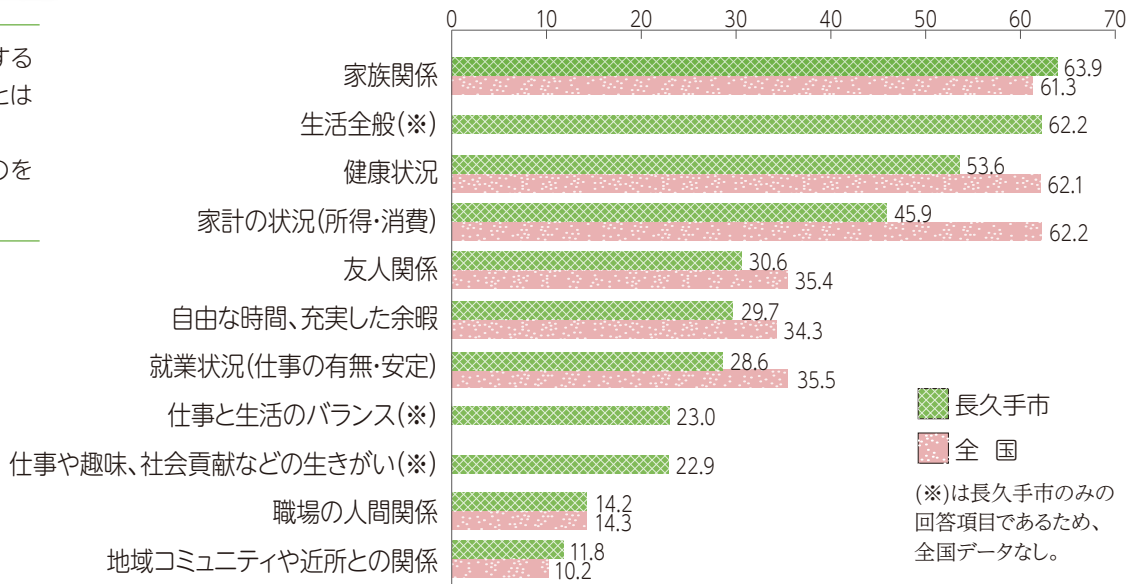
新しいまちのかたち

☎ 経営管理課 ☎ 56-0600

幸せ感を判断する基準は？

「幸せ感を判断する際に重視したことは何か」
(あてはまるものをすべて選択)

市全体では、家族との関係、健康状況の順に高い状況にあり、地域コミュニティや近所との関係が最も低い状況にあります。全国と比較すると、健康状況が8.5ポイント、家計の状況は16.3ポイントそれぞれ低い状況にあります。長久手市は平均年齢が若く、働き世代の割合も多いことから、健康や家計に深刻な不安を感じている割合が全国よりも低いものと考えられます。



幸せリーグへの参加

6月5日(水)に東京都荒川区内で設立総会が開催され、加入した52市区町村のうち、長久手市長をはじめ、北は北海道斜里町、南は佐賀県佐賀市まで、全国42市区町村の首長らが出席しました。



「幸せリーグ」とは

独自の幸福度指標調査開発やシステムづくりの先進地である東京都荒川区が全国の地方自治体に呼び掛けたもので、正式名称は「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」です。

幸せリーグは、真に幸福な地域社会を築いていくために、同じ問題意識を共有する基礎自治体同士が連携し、互いに学び合い、持てる力を結集し、補い合う場として設立されました。

市長の感想

このリーグに50を超える自治体が参加したことは、経済的な成長などとは違う、これまでのモノサシでは測ることのできない価値観にどう対処していくか、いかに住民の幸福を実現していくかなど、一歩でも正解に近づきたいと多くの地方自治体が日々悩んでいることを表しているのではないかと思います。

今後は、実務者を中心に色々な自治体との交流が始まりますが、幸せを追求するあまり、他者と比較しすぎることはブレーキをかけたつ、長久手にも参考になりそうな取組は積極的に吸収していければ、今後のお付き合いが楽しみです。



長久手オリジナルのモノサシづくりに向けて、今後関わっていただける人を募集しますが、まずはみなさんの生活や地域とのかかわりに関する調査を予定していますので、ご協力をお願いします。